



(一財)松本ものづくり産業支援センター

NEWS

第11号

令和5年8月発行



伊那食品工業(株)の年輪経営を学ぶ

関連記事 4-5P 経営革新事例研究会 第9回 伊那食品工業(株) 見学、講演会

写真：伊那食品工業(株)包装ライン



サザンガク事業紹介

写真：こどもプログラミング教室

(令和5年7月22日)



「事業継続力強化計画」・「事業再構築補助金」について学ぶ

関連記事 6P 関東経済産業局 推奨2大施策 集中セミナー！@松本

写真：セミナーの様子

ものづくり産業支援のワンストップサービスを目指します

目次

1	アドバイザー・コーディネーターの紹介	3P
2	活動トピックス	4～10P
	杉本 守 アドバイザー	
	豊口 稔 コーディネーター	
	広橋 修 コーディネーター	
	相吉 一浩 コーディネーター	
	野尻 和彦 コーディネーター	
	宮島 正孝 コーディネーター	
3	サザンガクからのお知らせ	11P
4	新工業ビジョンの中間見直しについて	12～13P
5	補助金のお知らせ	14～15P
6	入居企業募集のお知らせ	15P

関係機関 (市外局番 0263)

松本市 産業振興部 商工課 工業振興担当／健康産業推進担当
TEL34-3270 FAX34-3008 TEL34-3296 FAX34-3297

松本市 産業振興部 農政課 マーケティング担当
TEL34-3221 FAX36-6217

松本商工会議所 中小企業振興部ものづくり支援グループ
TEL32-5350 FAX32-1482

信州大学 研究推進部 産学官地域連携課
TEL37-2087 FAX37-3049

(公財) 長野県産業振興機構 松本センター
TEL40-1780 FAX47-3380 (長野県松本合同庁舎内)

1 アドバイザー・コーディネーターの紹介

専門性の高い6名（ものづくり支援担当4名、ICT支援担当2名）のアドバイザー・コーディネーターを配置し、地域の中小製造業の皆様へのきめ細やかな支援を実施しておりますので、ご活用ください。

ものづくり支援担当



杉本 守 アドバイザー

松本市工業ビジョンの見直しを受け、ビジネスマッチングなど経営力向上に向けた経営支援全般や各種補助金申請支援だけでなく、生産性向上や人手不足対応を狙いとしたDX[※]やゼロカーボンに向けたGX[※]技術の推進を支援いたします。

- ① マッチング支援など経営力向上に関わる支援全般
- ② 新技術開発、新商品開発、新事業開発支援
- ③ 国、県、市の各種支援制度の申請支援
- ④ DX（IoTによるものづくり工程の見える化、工程改善～専用機～ロボット導入による自動化）やGX（ゼロカーボン技術開発など）に関する支援



豊口 稔 コーディネーター

松本市工業ビジョン中間見直しの5つの重点推進事項を念頭に、企業の皆様と課題を共有して、商品開発から販路拡大まで支援を行います。また、関係機関と連携して新たな課題（人材、DX、GX）に対応、見える化支援 などに取り組んで参ります。

- ① 企業間の強みを結び付け、新価値創造を支援
- ② 食料品産業、伝統的産業などの商品開発・販路開拓支援
- ③ 各種展示会出展支援、新規市場開拓支援



広橋 修 コーディネーター

松本市工業ビジョンが示す「松本市の特性を生かした新たな活力の創造により高い競争優位性を持った地域」を目指し、5つの推進事項を推進するため、最もベースとなる「人材」と「現場力」、「製品力」の強化に向けた支援を行います。

- ① 製造拠点の現場力強化（QCD+PSME）支援
- ② 製品力強化（新技術・新製品開発、ビジネスマッチング）支援
- ③ 次世代を担う、ものづくり人材の育成支援



相吉 一浩 コーディネーター

現在、多くの企業が業態を変革し、生き残る道を探さなければならない時代、自分自身も常に新たなことにチャレンジし、地域企業の皆様と、世の中になく製造現場を目指し、その先にはそれぞれの企業のお客さまの期待を超える、新しい価値創出の実現に向けて、支援してまいります。

- ① IE技術を活用し、製造力強化（工場／工程設計、自動化／合理化／省人化等）支援
- ② 次世代ものづくり人材の育成
- ③ 企業連携による、新たな価値創出に向けた支援

ICT支援担当



野尻 和彦 コーディネーター

DX・デジタル化の推進を実現するため企業内業務の課題を把握し、ICTをうまく活用することによる改善策を検討・検証し課題解決できるようご支援していきます。

ICT[※]に関連する新しい名称・キーワード・製品情報など日々のニュースなどでも毎日のように報道されています。リスクリングのテーマはもとより、企業活動に必要な技術や能力を高めていき、最終的には企業変革につなげていく分野になります。



宮島 正孝 コーディネーター

- ① DX活動に向けてデジタル化診断等を活用した現状把握と課題の整理
- ② アナログからデジタル化促進、デジタル化されたデータ分析・活用の支援
- ③ 経営者向け、一般社員向け、小中高生向けなど、対象別にセミナー、研修会等を開催
- ④ サザンガクにおける企業活動の活性化及び起業、創業、事業発現支援
- ⑤ ホームページ開設、ウェブショップ開設、OAソフト活用などICT関連支援
- ⑥ ウェブやメールによる各種施策、研修会情報等の情報発信・情報提供など

※ DX(Digital Transformation) デジタル化により社会や生活の形・スタイルが変わること

※ GX(Green Transformation) 温室効果ガスを発生させる化石燃料から太陽光発電などのクリーンエネルギー中心へと転換し、経済社会システム全体を変革しようとする取り組み

※ ICT（情報通信技術）：Information and Communication Technology

2 活動トピックス

ものづくり支援担当

杉本 守 アドバイザー

経済産業省 国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

「ロボット実装モデル構築推進タスクフォース活動成果報告書（詳細版）」2020年3月

<https://www.meti.go.jp/press/2020/09/20200928002/20200928002-2.pdf>

コメント：ロボット実装モデル構築（施設管理、小売、飲食、食品の4分野）にて、ROI（投資対効果）等を検証するための参考資料として紹介します。

FOOMA JAPAN 2023（食料品製造機器等）

2023年6月6日から9日、東京ビッグサイトの東展示棟で「FOOMA JAPAN 2023」が開催されました。主催は日本食品機械工業会。

今年の出展社数は過去最多の953社。来場者は106,104人（海外から3,178人）。

コメント：惣菜盛り付けや配送仕分けなど食料品製造工程の自動化に際し、ロボットを用いた先進的な展示が複数件あり、ロボットによる自動化が困難と言われてきた食料品製造工程においてもロボット化の可能性が高まり始めていることを実感することができました。

三和ロボテックス(株)（飯田市 Sler）工場バス見学会

日時：6月28日(水) 10:30～17:30

参加人数：31名

同社は中信地域自動化推進ネットワーク Sler 部会のメンバーであり、同ネットワーク参加企業の交流を深めることを狙いとし開催されました。

AI等金属の切削加工を行う精機事業とロボットシステムを他社に提供するスマートファクトリー事業があり、自社工程で自動化を検証したノウハウを活かしたロボットシステムを提供できることが強みです。

当たり前のことを当たり前にという経営理念の下、掃除、挨拶、在庫管理、5S、悪口を言わないなど、コミュニケーションをとることを重視されています。

事後のアンケート結果も「普段できない他社の企業の工場見学をさせてもらえて自社の足りない事や改善の参考になる事が多く見つける事ができた」など、大変好評でした。

経営革新事例研究会 第9回 伊那食品工業

日時：7月5日(水) 10:30～17:30

場所：伊那食品工業(株) かんてんぱぱガーデン

包装ライン見学後、講演会

参加人数：28名

アンケート結果：会社紹介ビデオ&社長講演 全員満点（役に立った）の評価

伊那食品工業の年輪経営を学ぶ

～成長し続ける経営哲学とは何か～

「経営革新事例研究会」は 中小企業の経営革新に向け、経営者の意識改革に繋がる「事例及び経営哲学等」をご紹介する場として、これまでに 年に1～2回、合計8回開催して参りました。コロナ禍で3年間中断しておりましたが、この度、48年連続で増収増益を続けている伊那食品工業(株)の年輪経営(非上場、従業員ファースト、凡事継続、身の丈に合った成長、事業目標数値なし、査定なし)を学ぶ研究会を開催できました。

午前中に北丘工場の包装ラインを見学し、午後の講演会は30分ビデオで社員のコメントの後、約1時間に渡る社長の講演と20分以上の活発な質疑応答が行われました。

社 是： いい会社をつくりましょう を基準に考える

経営の目的： 社員の幸せ

経営施策： 家族となること 年功序列 / 評価に差をつけない

目標管理： 会社が数値目標を設定するのではなく、社員自ら目標を立て、やる。そのために皆が互いに助け合う。

手 段： 仲良くなるためにイベントや行事は皆でやる。

事 例： 朝の掃除をなぜやるか？

気づきの訓練。掃除は上司・部下無関係。同じ立場であり横の繋がりになる。誰が何をやるか何も決まっていない。社員自ら気づきやる。やり方はそれぞれ。子供と一緒に休日だけ掃除するも良し。時間も決まっていない。

目標を達成するには皆に助けてもらう必要があり、仲良くなる為に社員全員の掃除や部署を越えた社員旅行などが行われている。



伊那食品工業(株) 講演会

関東経済産業局 推奨2大施策 集中セミナー!@松本 開催しました

令和5年3月14日 松本市情報創造館において、関東経済産業局からお二人の講師をお迎えし、「事業継続力強化計画」と「事業再構築補助金」に関するセミナーを開催いたしました。冒頭、松本市 産業振興部 商工課課長 山岸修様からご挨拶をいただいたのち、経済産業省関東経済産業局経済部 中小企業課係長 川田 瑞穂 様より「会社と従業員を守る! “事業継続力強化計画”」と題してご講演いただいた。

事業継続力強化計画とは、中小企業の防災・減災力を高めるために、防災・減災への第一歩を踏み出してもらうべく、BCP（事業継続計画）よりも簡易で取り組みやすいものとして令和元年7月16日に創設された認定制度です。防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が認定。認定を受けた中小企業は、税制優遇や補助金の加算などの支援策の活用が可能となる。松本市のハザードマップを元に防災減災効果を高めるポイント（5つのStep）や、計画の実効性を高めるためのポイント（6つの教訓）など説明があった。



続いて同課企画係 山田 智嗣 様から「会社の大胆なチャレンジを強力に後押し! “事業再構築補助金”」と題してご講演いただいた。R4年度第二次補正予算で見直し・拡充となった事業再構築補助金のポイントについて詳細の説明があった。①市場規模が10%以上拡大する業種・業態への転換を支援する「成長枠」を創設する。②グリーン成長枠について、研究開発等の要件を緩和した類型「エントリー」を創設する。③大胆な賃上げや、中小企業等からの卒業に取り組む場合、更なるインセンティブ（補助率・補助上限の引き上げ）を措置する。④市場規模の縮小により、事業再構築が強く求められる業種・業態の事業者を重点的に支援する産業構造転換枠を創設する。⑤海外で製造する製品・部品等の国内回帰を進め、国内サプライチェーンの強靱化及び地域産業の活性化に資する取り組みを行う事業者を支援するサプライチェーン強靱化枠を創設する。⑥コロナや物価高等により業況が厳しい事業者や、最低賃金引上げの影響を大きく受ける事業者を引き続き手厚く支援する。⑦グリーン成長枠に加え、産業構造転換枠及びサプライチェーン強靱化枠についても、所定の要件を満たした場合、2回目の申請を認める。等の説明があった。

省エネ診断“見える化”に取り組みませんか？

松本市の工業ビジョン見直し（R5～9）では「ゼロカーボンへの取り組み」が掲げられました。松本ものづくり産業支援センターでは、「省エネ診断“見える化”」の支援をお手伝いいたします。電力量データロガーや赤外線サーモグラフィーカメラなどを用いて、貴社の使用エネルギーの実態を把握してみませんか？



展示品募集！

松本ものづくり産業支援センターの1階入口フロアにショーケースを用意いたしました。小規模ですが、工業製品等の展示にご利用いただけます。

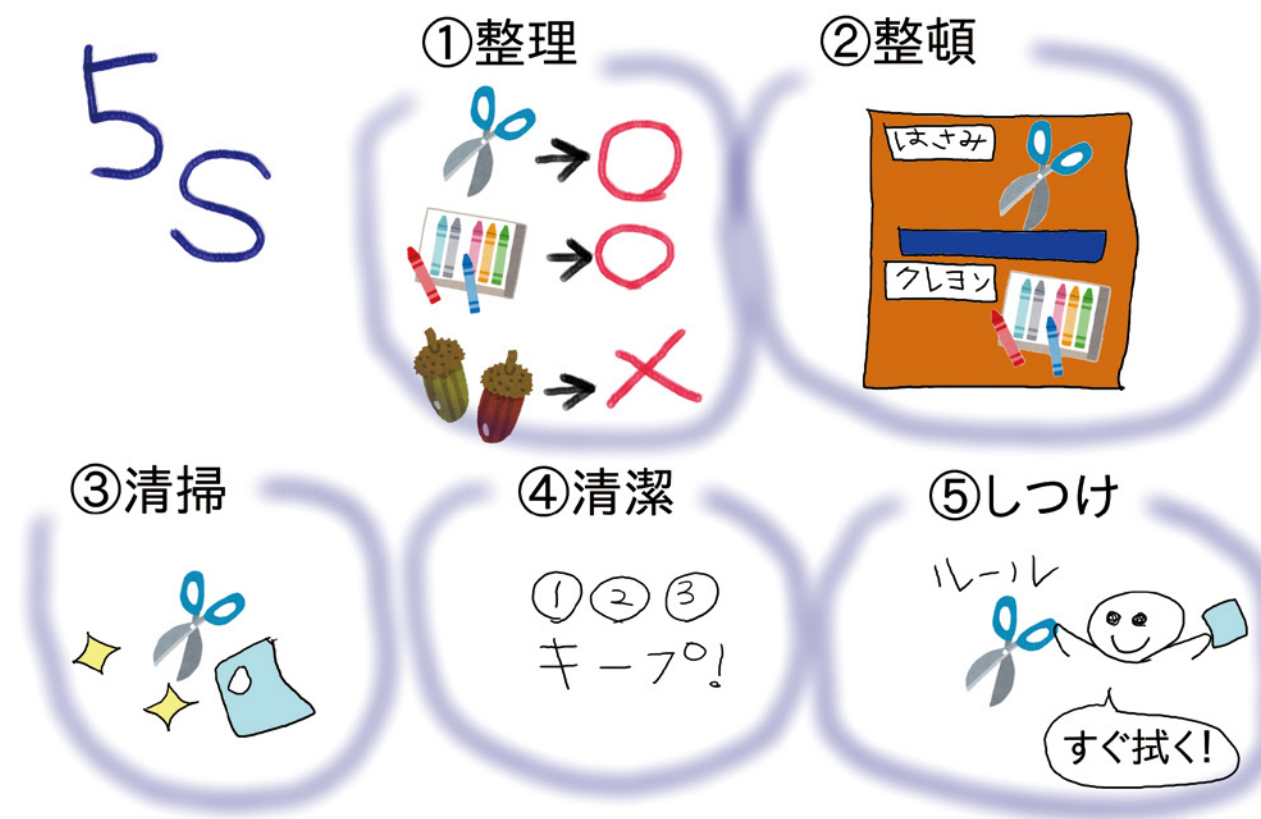
新製品など無償でご提供いただける事業者様は、コーディネーターまでお申し出ください。（品質劣化の少ないものをお願いします）



5S活動の勧め

個人が変われば会社も変わる

5Sは日常生活をするうえで当たり前に守るべきルールであり、それを会社でも実行する取組みといえます



トップの姿勢と推進体制が5Sの原動力

5S活動は、社長、工場長といった組織のトップが率先垂範することが定着のポイント



トップがその気にならなければ部下は動かず、5Sを仕事にしなければ定着しない

相吉 一浩 コーディネーター

改善交流会の開催

D社さまにて3月に管理者研修として「改善セミナー（今必要な“改善”について）」を実施しました。

既に改善活動は日々の業務の中で定着している会社さまですが、直近ではコロナ感染やウクライナ進行を端に発した混沌とした社会状況の中で、更なる改善が必要と言うことで、改めて基本に戻り下図に示すような、改善には進める順番がある、と言う事から一緒に学びました。

その中のポイントとしては、利益の出る製品作り＝生産性向上の改善活動は、最後に取り組む改善である事、そしてその前に行うべき改善がある事にあります。

STEP1: 5S活動

STEP2: 安全衛生に関する活動

STEP3: 品質向上に関する活動

STEP4: 生産性向上に関する活動

この研修の後の相談事項の中で、ベース活動としての5S活動を更に進化させたい、ということから、他社事例を勉強する為の交流会を企画しました。

今回は、池田町のO社さまのご厚意により、4月に総勢8名にて訪問し交流会を実施しました。

工場内全体を説明頂きながら見学、その後この活動に対する熱い想いや考え方、活動事例紹介などを、専務さまはじめご担当者さまからお話し頂き、活発な意見交換が出来た事で、D社さまの皆さまにとって、とても有意義な時間が作れたものと思います。

一年後を目途に、今度はD社さまへO社さまを招く事を約束して今回の交流会をしめましたが、このような活動を通して、お互いの良い点を伸ばしていけるようになる事を期待しています。

ここ数年コロナ感染予防として、このような交流会が行なえていませんでした。これからは様子を見つつ、多くの地元企業がお互いに交流し合える場を提供していきたいと考えております。



ICT支援担当

野尻 和彦 コーディネーター

宮島 正孝 コーディネーター

DX 推進の為にはまずは現状分析から！

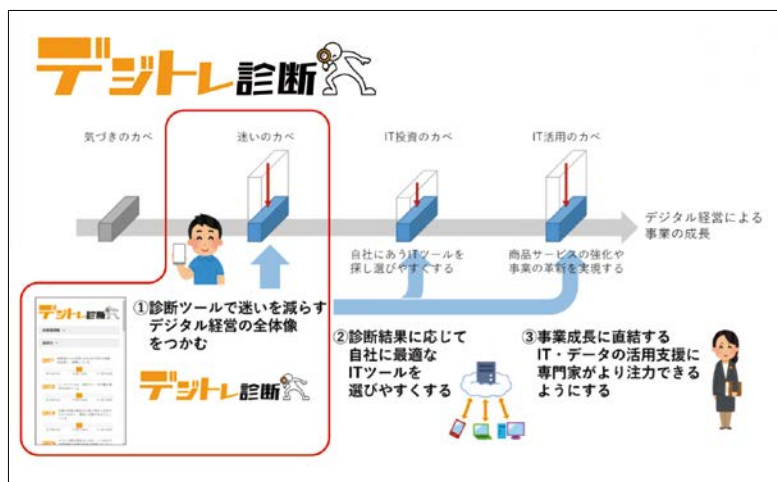
自社のデジタル活用度をチェックできる「デジトレ診断」の活用を間もなく開始！

今や全ての中小企業経営がデジタル化に取り組まなくてはならない時代となってきました。

「DXに取り組みたいが、何から始めていいのかわからない」「自社の実情にあったデジタル活用法を知りたい」「それなりにデジタル活用できているつもりだが更に伸ばしたい」

そんなお困りごとに対して、現状を俯瞰し強みと足りないところが一目でわかる「デジトレ診断」を導入し、デジタル化活動を支援いたします。

「デジトレ診断」は合同会社デジトレの診断サービスで、デジタル活用度の定量的かつ客観的な評価を得ることができる為、課題解決のための活動にあたりをつけることに役立ちます。



81.7 / 200点

2022年12月時点でのデジトレ診断の全国平均データ平均

【体幹力】



21.8

40点

業務フローの整備	顧客関係の整備
5.6	5.8
共働きの活用	販路の活用
4.9	5.4

【基礎体力】



17.1

40点

情報アクセスの整備	一元管理環境の整備
3.7	4.5
データ保全の整備	そろえる環境
4.7	4.2

【回転力】



13.3

40点

管理水準を高める整備	データ活用環境の整備
3.2	2.7
知恵を集める環境	成長に活かす環境
4.4	3.0

【伝える力】



15.5

40点

魅力伝達機能の整備	魅力形成機能の整備
4.3	3.7
外の声を聞く環境	育成の環境
3.5	4.0

【つながる力】



14.0

40点

顧客利便性の整備	パートナー連携の整備
3.8	3.0
チャレンジ環境	コントロールの環境
3.9	3.3

当センターはこの診断を皆様のデジタル化活動の品質とスピードの向上に活用していきます。

中小ビジネスの
実際のIT活用事例



IT経営マガジンCOMPASS
IT導入補助金事例
中小企業白書掲載事例
個別支援現場
個別事例取材

模範的取り組みをすべて抽出
ベストプラクティスとして設問化

体幹力へ

Q01 お客様からのお問い合わせや応時の課題を認識し、善処している

当てはまらない やや当てはまる よく当てはまる

Q02 モノやファイル、資料やデータの置き場所を決めている

当てはまらない やや当てはまる よく当てはまる

Q03 仕事の準備は毎回その場と変えて対応するのではなく、事前に定まるようにしている

当てはまらない やや当てはまる よく当てはまる

Q04 どういう時に何をすべきか、いつも行う定型業務の準備や整事は明確になっている

当てはまらない やや当てはまる よく当てはまる

メールマガジンの受信希望企業を募集します

松本ものづくり産業支援センターでは、地域製造業の皆様へ産業支援に係る各種情報を配信する「メールマガジン」を運営しております。

インターネットを通じた情報発信・収集が主流となった今日、必要な情報を得るためには大量の情報データから探し出す必要があります。

当「メールマガジン」では、国・県・市や大学、産業支援機関から発信される各種情報を整理し、e-mailにより直接企業の担当者の方へ配信いたします。

どうぞ、ご活用下さい。

配信する情報の一例

- 国や県の補助金等の公募情報
- 市や商工会議所の支援メニュー、補助金等の情報
- 人材育成に関する研修会・講習会等の情報
- 講演会、イベント等の情報
- 展示会等の開催情報

◆お問い合わせ◆

松本ものづくり産業支援センター（ICT 担当：野尻 info@m-isc.jp）

TEL:0263-40-1000 FAX:0263-40-1001

URL： <https://www.m-isc.jp/> メールマガジン /



地域中小企業支援の一環として「IT 出前講座」を実施しています

出前講座とは、講師が出向いて実施する IT セミナーです。企業様と打ち合わせの上で実施しますので、ご希望の内容、日時でセミナーを開催・受講することが出来ます。

基本的に無料ですが、松本市内の中小企業様が対象となります。PC やセミナー用の機材をご用意できない場合には、松本ものづくり産業支援センターから持ち込みます。

【テーマ例】

- ・各種オフィスソフト操作
- ・ホームページ作成
- ・ネット検索・Eメール活用
- ・スマホ・タブレット活用
- ・ネットワーク構築
- ・プログラミング

など

まずはご相談ください。

【お問い合わせ】

松本ものづくり産業支援センター

（ICT 担当：野尻、宮島 info@m-isc.jp）

TEL:0263-40-1000 FAX:0263-40-1001

URL： <https://www.m-isc.jp/it> 出前講座 /

3 サザンガクからのお知らせ

コワーキングスペース

快適な環境でお仕事をしたい方、事業内容や起業について誰かに相談したい方、新しいつながりを求めている方、サザンガクの「コワーキングスペース」を是非ご利用ください。

<コワーキング料金表>

ドロップイン	
2 時間	500 円 (税込)
1 日	1,000 円 (税込)
定期会員	
一か月	10,000 円 (税込)

<コワーキング設備>

- ・Wi-Fi ・プリンター複合機 (別料金)
- ・モニター貸出 ・ホワイトボード ・シェアキッチン

セミナーや交流イベントも随時実施しています。今後の予定については、サザンガクホームページをご覧ください。



サテライトオフィス

デジタル技術分野をはじめとする企業誘致の場として、全 16 区画をご用意しています。空き状況は、サザンガクまでお問い合わせください。

<サテライトオフィス使用料 ※税・共益費込>

- ・個人ブース：月額 17,000 円
- ・複数人区画：月額 43,500 円～
(区画の規模により異なります)



テレワークオフィス

人手不足でお困りではありませんか？

「必要な時に、必要な分だけ人手が欲しい」

「プロジェクトごとに採用活動や、協力企業を探すのが大変」

サザンガクの「テレワークオフィス」は、事業者の皆さまのアウトソース先として、お気軽にご利用いただけます。

- ・登録ワーカー 100 名以上
- ・プライバシーマークを取得した万全のセキュリティ体制
- ・業務の内容に応じて専任のディレクターが人材を適切に配置

<主な受注業務>

- ・データ入力・データ加工・校正・資料作成・動画作成・広告、バナーデザイン・SNS 運用・EC サイト運用・web サイト更新作業・CAD 図面作成 etc.

小さなお仕事でもすぐに対応いたしますので、まずはお気軽にご相談ください。



サザンガクは、地域の ICT 支援拠点として、これからも地域の事業者の皆さまを様々な面からサポートいたします。

●お問い合わせ

〒390-0874 松本市大手3丁目3番9号 サザンガク

電話：0263-33-0339 メール：info@33gaku.jp

4 松本市工業ビジョンの 中間見直しを行いました。



詳しい内容は、
松本市のHPを
ご覧ください。

◇松本市工業ビジョン（計画期間：平成30年度～令和9年度）

松本市のものづくり産業の持続的な発展の実現に向け、ものづくり企業、関係機関、行政それぞれが主体的に取り組むための指針です。

◇松本市ものづくり産業の目指すべき方向性

松本市の特性を生かした新たな活力の創造により
高い競争優位性を持った地域

◇中間見直しについて

前期5年間（平成30年度～令和4年度）の成果やものづくり産業の現状、社会情勢の変化等を踏まえ、後期5年間に向け中間見直しを行いました。

ビジョンの目指す将来像の実現に向け、特に重点的に取り組む必要がある事項として、以下の5項目を重点的推進事項に設定しました。

◇重点的推進事項

1 人材の確保

学生と事業者との接点創出を図るほか、意欲ある女性やシニア層、スキルを有した外国人など、多様な人材と企業とのマッチング等により人材の多様性（ダイバーシティ）を推進します。

特に女性の視点による新製品等の開発やイノベーションの創出、経営・企画への女性の参画に向け、女性のキャリアアップや管理職への登用に向けた成長支援や、経営者層の意識改革、男性の家事・育児への参加促進等により、誰もが働きやすい環境の整備を推進します。

必要性の高い専門的人材や、個別の課題解決に必要な人材については、専門的知識を有する外部人材の確保に向け、マッチングなどの支援を行います。

人手（人材）不足の克服

- 人手（人材）不足の克服に向け、人材の多様性（ダイバーシティ）を推進

女性の活躍促進	人材と企業の接点創出	UIJターンの促進	働きやすい環境整備
 ・ 女性向けスキルアップ支援講座の開催 ・ 女性管理職養成セミナー、女性登用に関する経営者向けセミナーの開催	 ・ 学生と地域企業のマッチング支援 ・ 工業高校の生徒による地元企業へのインターンシップの実施支援 など	 ・ 勤労者層向けの情報発信 ・ 移住セミナー等によるUIJターンの促進	 ・ 就労環境の整備へ向けた意識啓発 ・ 「健康経営」に関する地元企業への普及啓発 など

専門的人材の確保

- DX・デジタル化、ゼロカーボンへの推進や、企業の課題解決に向け、専門的人材の確保を支援

社内人材の成長支援	外部人材の活用
 ・ 各種講座等の開催によるものづくり人材の成長支援	 ・ 首都圏などの専門的人材とのマッチング

2 DX・デジタル化の推進

1. DX・デジタル化の推進による生産性向上・ビジネスモデルの変革

情報提供・普及啓発を通じ、DXに取り組む必要性や、DXに取り組まなかった場合のリスクについて、理解促進を図ります。生産工程の自動化・デジタル化や、ビジネスモデルの変革・競争力の強化を推進し、成功事例の共有を図ります。

地域の推進体制や地元IT企業等との連携・協力を推進します。情報セキュリティに関する情報提供や啓発にも取り組みます。

2. DX・デジタル化の推進に向けた社内人材の成長支援・外部人材の確保

企業内でのDX・デジタル化に関する経営層を含めた全体的なリテラシーの習得・向上を進めます。

社内人材リスキリング支援やスキルを有する外部人材の確保に向け、マッチング支援等を行います。

紙や口頭による業務が中心で、デジタル化が図られていない状態



既存ビジネスの効率化
コスト削減

デジタイゼーション



デジタルツールの活用によるアナログ・物理データのデジタルデータ化

デジタライゼーション



個別の業務・製造プロセスのデジタル化やデータ分析による既存ビジネスの効率化

ビジネスモデルの変革・新規ビジネス
全社的な収益向上

DX（デジタルトランスフォーメーション）



組織全体の業務・製造プロセスのデジタル化によるビジネスモデルの変革や競争力の強化

※必ずしも左から順に実施を検討するものではない

3 ゼロカーボンの推進

1. 経営資源の脱炭素化

主にこれから取組みを始める中小・零細事業者

「きっかけ・動機付け」を通じ、脱炭素の必要性について認識向上を図るとともに、「見える化」に向けた取組みを促進します。

【1-2】既に脱炭素化に着手している事業者

生産工程の省エネ化・低炭素化、再エネ導入等、削減目標の達成に向け、実効性の高い取組みを推進し成功事例を共有します。

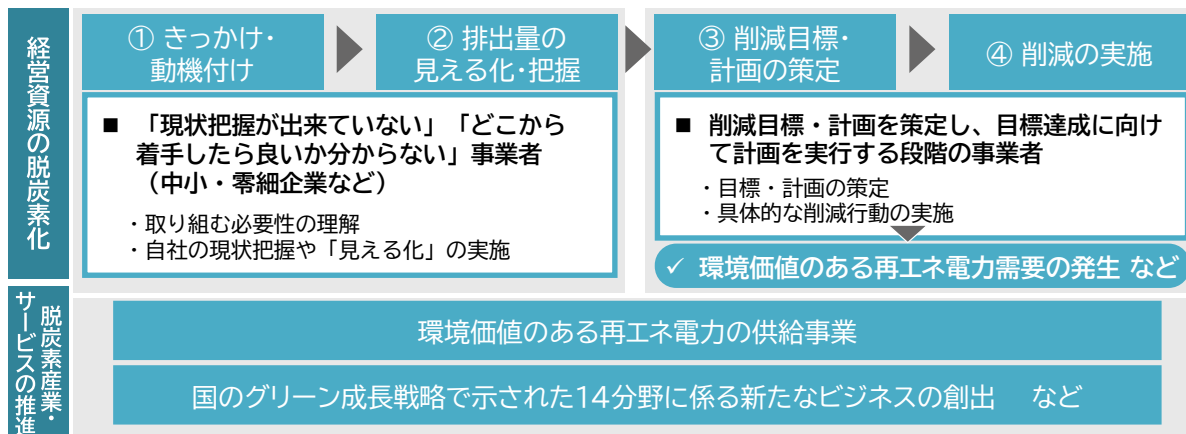
【1-3】脱炭素化推進に向けた人材の確保

内部人材のリスクリリングや、外部専門人材の確保に向けたマッチング等を支援します。

2. 脱炭素産業・サービスの推進

環境価値のある再エネ電力の発電・供給事業の創出や需給のマッチングに取り組み、グリーンエネルギーの地産地消を促進します。

また、国が「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」で示した、成長が期待される産業14分野に係る新たな産業・サービスの創出促進にも取り組みます。

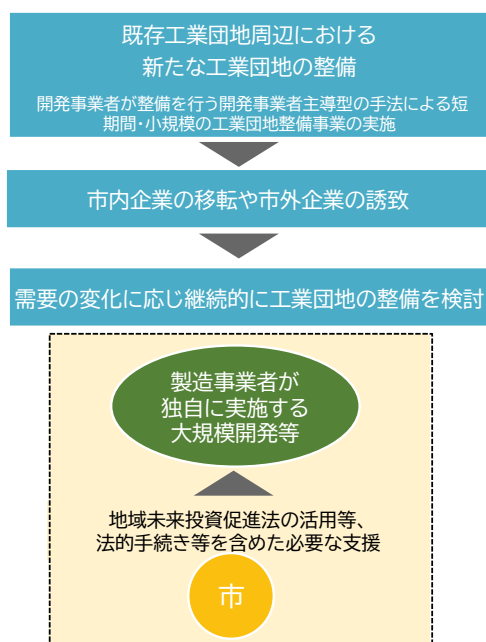


4 工業団地の整備と企業立地の促進

現在の需要に対応するため、既存工業団地周辺において市の計画に基づく新たな工業団地を整備し、市内企業の移転や市外企業の誘致を行います。

今後は、需要の変化に応じて、市の他の施策との整合を図りながら計画的な団地整備を検討します。

大規模な事業用地の需要に対しては、事業者自らによる開発事業を促進するため、法的手続き等を含めた必要な支援を行います。



5 重点産業分野の推進

1. 健康・医療分野

医療分野に参入する企業の発掘や育成に取り組みます。また、「松本ヘルス・ラボ」をテストフィールドとした社会的課題の解決を図るための新たな事業化に向けた取組みを促進します。

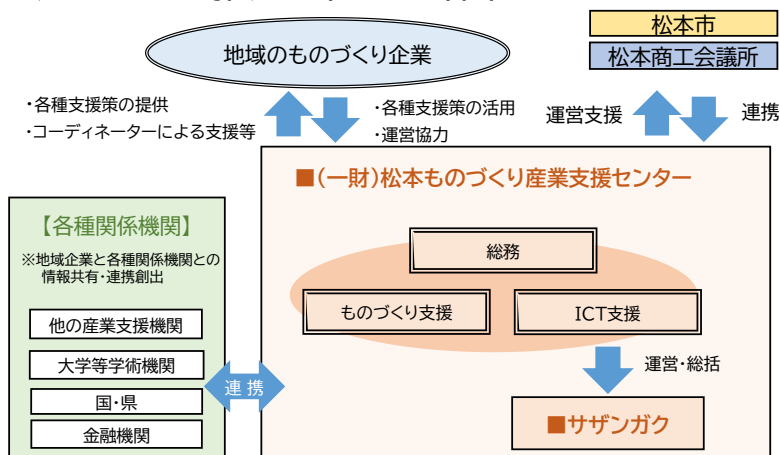
2. 食料品製造分野

豊富な農産物など松本の地域資源を効果的に活用した、松本ならではの新製品の開発等、食料品製造業の重点的な推進を図ります。

3. 産業用ロボット等の高度な産業用機械分野

令和3年度に松本地域の支援機関が連携し、地域のものづくり中小企業の自動化を支援する「中信地域自動化推進ネットワーク」を設立しました。現状、市内の参加企業は導入側事業者のみで、自動化導入支援を行うシステムインテグレーター（S I e r）や製造側事業者はいないため、ネットワークによる事業者への自動化導入支援を通じて、そのニーズに合った産業用ロボット等を製造できる市内企業や、導入支援が可能な市内S I e r企業の育成を図ります。

◇ビジョン推進に向けた体制



5 補助金のお知らせ

ものづくり事業者の皆さんへ様々な助成、補助制度を用意しています。詳細については、商工課工業振興担当までお気軽にお問い合わせください。

改正

中小 地域中核

製造業等活性化支援事業助成金

大学等研究機関との共同研究や新分野への進出等企業の新たなチャレンジを支援します。

- ◇産学共同研究事業・新産業創出事業の場合
助成率 1/2 限度額 100 万円 1 事業 3 回まで
- ◇地域中核企業※が上記事業を行う場合
助成率 2/3 限度額 300 万円 1 事業 3 回まで

R5 ~
対象企業・回数・
限度額を拡大!

改正

中小 地域中核

製造業等販路拡大支援事業補助金

展示会の出展や海外向け EC サイトの開設に際し、その費用の一部を補助します

- ◇国内向け
補助率 10/10 限度額 25 万円
- ◇海外向け
補助率 10/10 限度額 50 万円
地域中核企業※の場合は限度額 100 万円

R5 ~
対象企業・回数・
限度額を拡大!

改正

中小

製造業等人材育成事業補助金

人材のスキルアップに係る研修費用の一部を補助します。

- 補助率 1/2 限度額 2.5 万円 (受講者 1 名につき)
1 事業者合計 10 万円まで

R5 ~
対象となる
研修を拡充!

地域中核

地域中核企業支援事業補助金

地域中核企業※が事務所・工場等々を新・増設する場合、その費用の一部を補助します。

- ◇施設等整備事業
補助率 1/10 限度額 500 万円
- ◇施設等設置事業
3 年間分の固定資産税相当額 限度額なし
(施設等整備事業を活用し取得したものに限り)

ヘルスケアサービス等実用化 検証事業助成金

ヘルスケアサービスに係る実用化検証を行う場合、その費用の一部を補助します。

- 助成率 3/4 限度額 100 万円 1 事業 3 回まで

中小

空き工場等活用事業補助金

市内の空き工場を活用し、製造や新製品開発等を行う場合、賃借料の一部を補助します。

- 補助率 1/2 限度額 96 万円 (8 万円/月×12 か月)

※地域中核企業…地域未来牽引企業、県から地域経済牽引事業計画の承認を受けた企業等

新設

中小

外部人材活用促進事業補助金

経営改革※¹のために外部人材※²の雇用等を行う場合その費用の一部を補助します。

- ※1 新製品・新技術の開発、新分野への進出、デジタル化・脱炭素化の推進等により、企業の成長促進を図ること
- ※2 市外に住所を有し、事業開始前に、補助を受ける事業者による雇用等が行われていない者

- ◇外部人材に係る給与等
補助率 1/2 限度額 90 万円 (15 万円/月×6 か月)
- ◇外部人材に係る滞在費
補助率 1/2 限度額 10 万円
※合計 200 万円まで

「地域の人事部」
または、「信州100年企業
創出プログラム」への
参加が必要です!

地域の人事部とは

関東経済産業局のモデル事業として、R4 年度から始めました。商工会議所や行政、金融機関、大学等、地域の支援機関が丸となり地域中小企業の多様な人材活用の支援を行っています。本年度も都市圏の外部人材とのマッチングや、人材に係る研修等、様々な事業を行う予定ですので、是非ご参加ください。

脱炭素型大規模投資支援事業補助金

ゼロカーボン産業に取り組むために必要な建物の新設・増設・移設、償却資産の取得をするための大規模投資 (3 億円以上) を行う場合、その費用の一部を補助します。

- 補助率 対象経費の 3% 限度額 3,000 万円

テレワークオフィス設置支援 事業補助金

松本市に新たに進出し、サテライトオフィスを設置する際、その費用の一部を補助します。

- ◇賃借料補助
①補助率 1/2 限度額 120 万円 (10 万円/月×12 か月)
- ◇施設整備費補助
②改修費等 補助率 1/2 限度額 200 万円
③備品購入費 補助率 1/2 限度額 20 万円
※①～③合計 200 万円まで

企業事務所誘致事業補助金

上場企業等が市内に新たに事務所を設置する場合、その費用の一部を補助します。

- ◇取得の場合
3 年間分の固定資産税相当額 限度額 1,000 万円
(中心市街地の場合、5 年分 4 年目以降 600 万円)
- ◇賃貸の場合
補助率 賃借料の 1/2 限度額 800 万円 3 年間
(中心市街地の場合、5 年分 4 年目以降 400 万円)

お問い合わせ：松本市役所商工課 工業振興担当 / 健康産業推進担当 TEL:34-3270 FAX:34-3008 / TEL:34-3296 FAX:34-3297
〒390-8620 松本市丸の内 3-7 MAIL:shoukou@city.matsumoto.lg.jp / kenkou-sangyou@city.matsumoto.lg.jp

農畜産物販売促進事業補助

産業力の向上及び地域活性化を目指して、生産及びその加工又は販売を一体的に行い、農産物の付加価値を高める取組みに対し、補助金による支援を行います。審査会委員には、販売戦略や販路開拓等さまざまな分野の専門家を招聘し、支援体制を強化しています。

「松本市地産地消推進の店」になることで、農業者以外の皆様もご活用いただける制度です。

補助対象者 (1)農業者、農業者で組織する団体又は農地所有適格法人
(2)市内で農産物直売所を経営する者
(3)松本市地産地消推進の店として登録された事業者

商品開発

補助対象経費：新たな商品開発の要する経費
(研究開発費、モニタリング費、パッケージ開発費)

補助率 1 / 2 上限額 100 万円

販路開拓 (対面)

補助対象経費：県外及び海外における販路開拓のための物産展への出展、直売所交流に要する経費
(出展負担金、デザイン費・印刷費・資材費・広告費・輸送費・旅費・装飾品借上料・筆耕翻訳料)

補助率 1 / 2、出展負担金は 10/10 上限額 県外 25 万円、海外 50 万円

販路開拓 (Eメール 利用型)

新たにECモール（複数の事業者が出展又は出展している集合型のECサイト）へ出展し、地元農畜産物又は地元農畜産物を使用した加工品を販売することに要する経費
(ECサイト運営会社に支払う利用料及び手数料、撮影委託費、文章作成委託費・SEO対策)

補助率 1 / 2 上限額 25 万円

販路開拓 (Eメール 構築型)

地元農畜産物又は地元農畜産物を使用した加工品を販売するECサイトを新しく構築することに要する経費
(ECサイトの構築及び運営に係る経費サイト構築費・利用料、撮影委託費・文章作成委託費・SEO対策費)

補助率 1 / 2 上限額 30 万円

お問い合わせ：松本市役所産業振興部農政課マーケティング担当 〒 390-8620 松本市丸の内3番7号 TEL:34-3221

6 研究開発室(205号室)入居者募集のお知らせ

一般財団法人松本ものづくり産業支援センター

一般財団法人松本ものづくり産業支援センターでは、
当センター2階研究開発室(205号室)の入居者を募集します。

- (1) 所在地
長野県松本市和田 4010-27
- (2) 募集対象区画
2 階 205 号室 (52㎡) 1 室
- (3) 使用料
月額 80,080 円及び共益費 5,000 円
(いずれも消費税込み)
光熱水費は実費負担

※入居条件等詳しくは、下記までお問い合わせください
一般財団法人松本ものづくり産業支援センター
〒 390-1242 長野県松本市和田 4010-27
電話 0263-40-1000 FAX0263-40-1001
E-mail : info@m-isc.jp



センターNEWSやメールマガジンの
お申し込みはこちらから



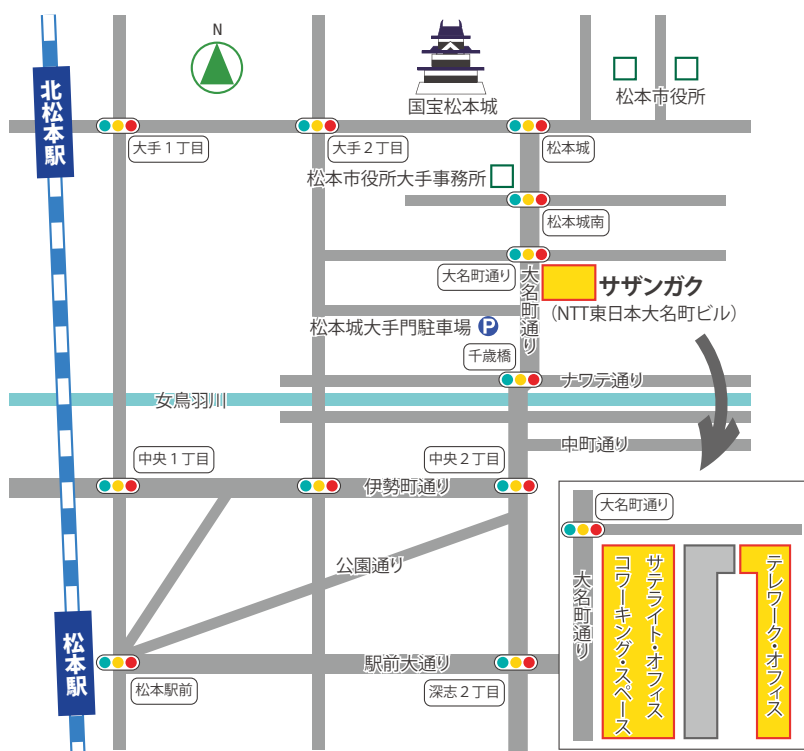
一般財団法人

松本ものづくり産業支援センター

〒390-1242 長野県松本市和田 4010-27

☎ 0263-40-1000 FAX : 0263-40-1001

HP : <https://www.m-isc.jp/>



コワーキングスペースのご利用案内

開館：平日 午前 10 時～午後 7 時

ご利用料金：(税込)

ドロップイン 500 円／2 時間

1,000 円／日

月会員 10,000 円／月



サザンガク

matsumoto collaboration space

〒390-0874 長野県松本市大手 3-3-9

☎ 0263-33-0339 FAX : 0263-33-0305

HP : <https://33gaku.jp/>

☐ コワーキングスペース ☐ サテライトオフィス

☐ テレワークオフィス

松本ものづくり産業支援センター NEWS
第 11 号 (令和 5 年 8 月)
発行 / 松本ものづくり産業支援センター
印刷 / アサカワ印刷株式会社